

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年03月29日

来島どっく健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	87190
組合名称	来島どっく
形態	単一
業種	機械器具製造業

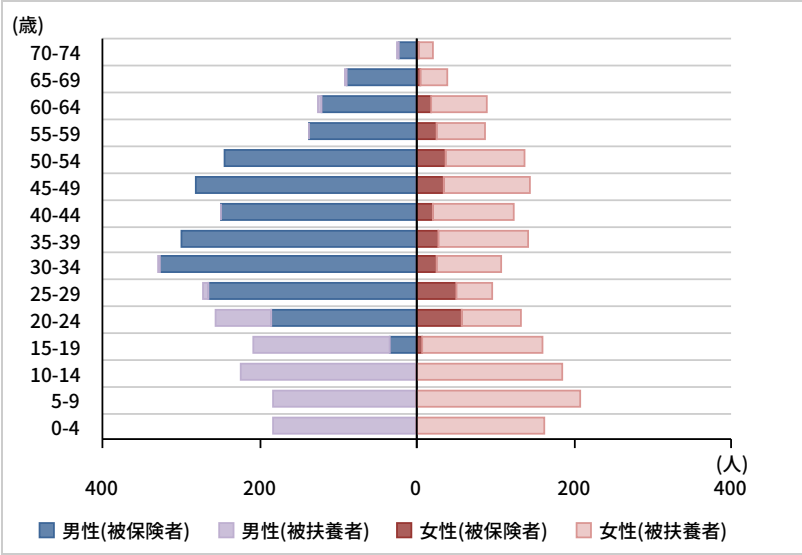
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	2,565名 男性88% (平均年齢41歳) * 女性12% (平均年齢39歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	4,945名	-名	-名
適用事業所数	23カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	23カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	100%o	-%o	-%o

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	12	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	1,368 / 1,730 = 79.1 %	
	被保険者	1,173 / 1,232 = 95.2 %	
	被扶養者	195 / 498 = 39.2 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	216 / 317 = 68.1 %	
	被保険者	216 / 300 = 72.0 %	
	被扶養者	0 / 17 = 0.0 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	2,600	1,014	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	6,240	2,433	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	1,264	493	-	-	-	-
	疾病予防費	34,090	13,290	-	-	-	-
	体育奨励費	200	78	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	0	0	-	-	-	-
	小計 …a	44,394	17,308	0	-	0	-
経常支出合計 …b	1,521,140	593,037	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	2.92		-	-	-	-	

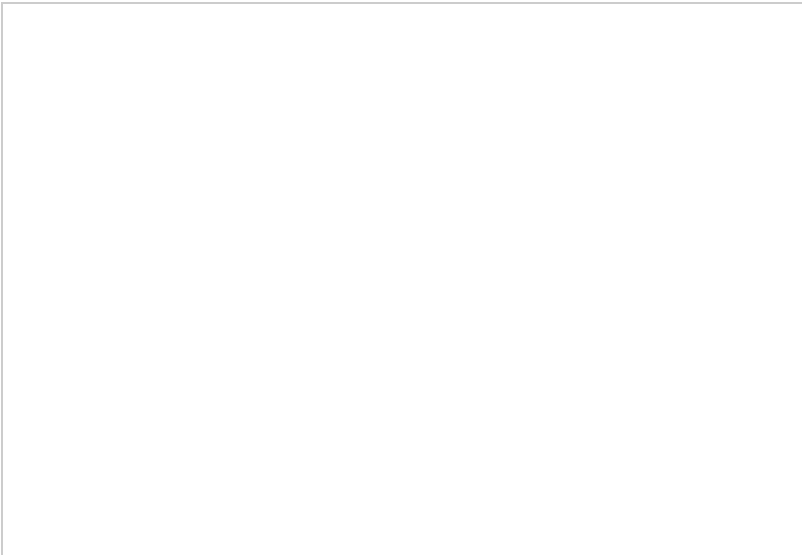
令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	34人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	186人	25～29	265人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	326人	35～39	300人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	250人	45～49	281人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	244人	55～59	137人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	121人	65～69	89人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	24人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	7人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	56人	25～29	50人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	24人	35～39	28人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	21人	45～49	34人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	37人	55～59	26人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	19人	65～69	4人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	2人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	182人	5～9	182人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	225人	15～19	174人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	71人	25～29	6人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	3人	35～39	0人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1人	45～49	0人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	0人	55～59	1人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	4人	65～69	2人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	3人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	163人	5～9	209人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	184人	15～19	154人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	76人	25～29	46人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	82人	35～39	114人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	102人	45～49	110人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	101人	55～59	61人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	70人	65～69	35人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	18人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- 被保険者数が2,500名程度で保健師等の専門スタッフがいない小規模健保である。
- 加入事業所の主体は造船業であり、被保険者の男性比率が約90%と高くなっている。
- 保険料率も協会けんぽと同じ100%であり、財政状況が厳しい。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

事業の一覧

職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	情報提供及び教育
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	運動セミナーの開催
疾病予防	人間ドック
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	郵送がん検診（大腸がん）
疾病予防	郵送がん検診（子宮頸がん）
疾病予防	前期高齢者保健指導
予算措置なし	ジェネリック医薬品の使用促進
予算措置なし	重症化予防
事業主の取組	
1	定期健康診断及び特殊健診
2	定期健診結果に基づく個別指導

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	5	情報提供及び教育	(目的) 情報発信による、被保険者の健康意識の醸成。 (概要) ①すこやか健保、パンフレット等の配付、②育児雑誌の配付、③新入社員教育	全て	男女	18～74	被保険者	360	・すこやか健保：職場毎に毎月配付、 ・パンフレット：随時配付 ・育児雑誌：第一子が生まれた家庭に2年間送付、 ・新入社員教育：事業所の新入社員教育の一環として実施	タイムリーな情報提供	配付後のフォローは出来ていない	5
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健診(被保険者)	(目的) 特定健診の受診率向上 (概要) 事業主が行う定期健診と併せて共同実施	全て	男女	40～74	被保険者	0	実施者数：1,173人 実施率：95.2%	事業所の定期健診(集団健診)と同時実施出来ている。	任意継続被保険者の実施率が低い(58%)。	4
	3	特定健診(被扶養者)	(目的) 特定健診の受診率向上 (概要) 受診者にとって利用しやすい集合健診、巡回健診を導入し、受診機会を増加	全て	男女	40～74	被扶養者	1,495	実施者数：195人 実施率：39.2%	集合健診、巡回健診の実施により受診率アップを図る。	受診勧奨の拡大	2
特定保健指導事業	4	特定保健指導	(目的) 特定保健指導の受診率向上 (概要) ①健保組合で対象者を抽出し、外部業者に特定保健指導業務を委託、②事業所に依頼して勤務時間内に面談を実施	全て	男女	40～74	被保険者、被扶養者	4,598	(動機付け支援) 実施者数103人、実施率77.4% (積極的支援) 実施者数113人、実施率61.4%	事業所の協力を得て勤務時間内に面談を実施	事業所によっては、特定健診と特定保健指導の実施年度が異なることがあり、受診率に影響しないよう注意する必要がある。	3
保健指導宣伝	5	運動セミナーの開催	(目的) 健康意識の醸成と運動習慣の変容を促す (概要) 毎年、セミナーの内容を業者と協議して決定し、参加者を募集する。	一部の事業所	男女	18～74	被保険者	3	毎年11月に実施 募集20人に対し、参加25人	体組成測定とエクササイズを組み合わせて実施	健康意識が高い人の参加が多いため、健康意識の低い人の参加拡大を図る。	4
疾病予防	3	人間ドック	(目的) 疾病の早期発見、早期治療 (概要) 費用の一部補助、特定健診受診も含め被扶養者に推進	全て	男女	20～74	被保険者、被扶養者	5,457	(受診者数) 被保険者79人 被扶養者81人	健保組合が費用の8割を負担	R5年度から、対象年齢の引き下げと補助金額の上限を設定	4
	3	生活習慣病健診	(目的) 疾病の早期発見 (概要) 生活習慣病健診及びがん検診を実施 ①被保険者：事業所の定期健診と同時実施、費用の全額を補助(一部年齢制限あり) ②被扶養者：自治体の住民健診を利用、自己負担分を全額補助	全て	男女	35～74	被保険者、被扶養者	17,804	①被保険者はほぼ対象者全員が受診 ②被扶養者は住民健診で98人が受診	被保険者は事業所の定期健診と同時実施	被扶養者には住民健診を勧めているが、利便性や情報不足から利用が進んでいない。	3
	3	郵送がん検診(大腸がん)	(目的) 大腸がんの早期発見 (概要) 被扶養者の希望者を対象に実施	全て	男女	35～74	被扶養者	198	実施者数：130人 実施率：18.6%	費用の全額を健保組合が補助	被保険者で年度内で一度も受診していない人にも対象拡大	4
	3	郵送がん検診(子宮頸がん)	(目的) 子宮頸がんの早期発見 (概要) 女性の被保険者・被扶養者の希望者を対象に実施(2021年度からHPV検査に切替)	全て	女性	20～74	被保険者、被扶養者	607	実施者数：118人 実施率：11.2%	費用の全額を健保組合が補助	受診率の向上	3
	4	前期高齢者保健指導	(目的) 前期高齢者の重症化予防及び医療費の削減 (概要) 前期高齢者の多い事業所で勤務時間内に実施	一部の事業所	男女	65～74	被保険者	67	実施者数19名	事業所の協力を得て勤務時間内に実施	効果の測定が難しい	4

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価	
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
予算措置なし	7	ジェネリック医薬品の使用促進	(目的) 薬剤費の削減 (概要) 薬剤費の多い加入者を対象に差額通知	全て	男女	0～74	基準該当者	0 未実施	-	コスト面、マンパワー面とも不足しており、対応出来ていない。	1	
	4	重症化予防	(目的) 糖尿病の重症化予防 (概要) 糖尿病の受診勧奨値以上で通院歴のない者に対して受診勧奨を実施	全て	男女	35～74	基準該当者	0 未実施	-	コスト面、マンパワー面とも不足しており、対応出来ていない。	-	


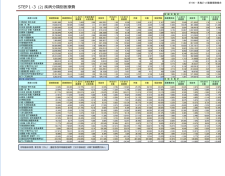

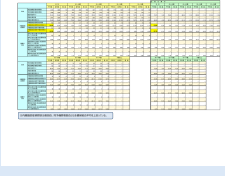
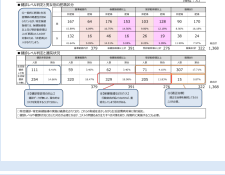
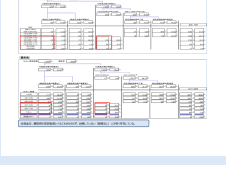
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

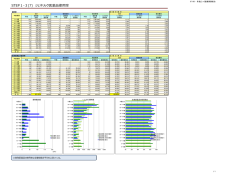
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断及び特殊健診	【目的】 疾病の早期発見 【概要】 労働安全衛生法に基づき実施	被保険者	男女	18 ～ (上限なし)	100%を目標に実施 実施率：ほぼ100%	—	—	有
定期健診結果に基づく個別指導	【目的】 再検査受診の促進による早期治療の促進 【概要】 要精密検査、要治療者に対する産業医による指導	被保険者	男女	18 ～ (上限なし)	健診結果の出る6月から3～4ヶ月かけて実施。 対象者は産業医が健診結果を見て判断。	産業医が実施するため、相談しやすい	—	無

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		当組合の支出と医療費（疾病分類別・年齢階層別医療費）	医療費・患者数分析	令和4年度決算・経常支出額 1,286,483千円
イ		疾病分類別医療費（比較）	医療費・患者数分析	-
ウ		生活習慣病対策として実施してきた特定健診・特定保健指導	特定健診分析	-
エ		特定健診結果の比較	特定健診分析	-
オ		健診結果によるレベル判定や健康状況から見る課題	健康リスク分析	-
カ		生活習慣病リスクフローチャート（脳卒中・心筋梗塞、糖尿病）	健康リスク分析	-

キ



ジェネリック医薬品使用率

後発医薬品分析

-

STEP 1 - 3 (1) 当組合の支出と医療費 (疾病分類別・年齢階層別医療費) 【令和4年度決算・経常支出額 1,286,483千円】

経常支出の内訳	保険給付費	744,572千円	58%	納付金	485,839千円	38%	保健事業費	33,472千円	3%	その他	22,600千円	2%
---------	-------	-----------	-----	-----	-----------	-----	-------	----------	----	-----	----------	----

■ 疾病分類 (ICD-10) 別医療費

	医療費総額	割合
感染症・寄生虫症	16,881,880円	2.46%
新生物	73,038,210円	10.62%
血液・造血器・免疫障害	15,526,560円	2.26%
内分泌・栄養・代謝疾患	51,254,980円	7.46%
精神・行動障害	30,180,940円	4.39%
神経系疾患	26,798,890円	3.90%
眼・付属器疾患	28,952,280円	4.21%
耳・乳様突起疾患	7,495,660円	1.09%
循環器系疾患	57,214,250円	8.32%
呼吸器系疾患	92,926,690円	13.52%
消化器系疾患	52,936,590円	7.70%
皮膚・皮下組織疾患	33,040,960円	4.81%
筋骨格系・結合組織疾患	43,278,390円	6.30%
腎尿路生殖器系疾患	26,318,350円	3.83%
妊娠・分娩・産褥	9,293,290円	1.35%
周産期発生病態	900,010円	0.13%
先天奇形変形・染色体異常	2,848,820円	0.41%
他に分類されないもの	13,045,490円	1.90%
損傷・中毒・外因性	29,992,580円	4.36%
健康影響・保健サービス	3,064,900円	0.45%
重症急性呼吸器症候群など	72,451,250円	10.54%
	687,440,970円	

- がん、白血病など
- 糖尿病、甲状腺障害、肥満症、脂質異常症など
- 統合失調症、ストレス関連障害など
- 高血圧性疾患、虚血性心疾患、脳血管疾患など
- かぜ、インフルエンザ、肺炎、喘息、アレルギー性鼻炎など
- 食道・胃・十二指腸の疾患、う蝕、歯周病、肝疾患など
- 関節障害、脊椎障害、骨粗しょう症、痛風など
- 腎不全、結石、前立腺肥大、子宮内膜症など
- 新型コロナウイルス感染症など

①呼吸器系疾患、新生物（がん）、重症急性呼吸器症候群の順で医療費の額が多い。生活習慣病についての医療費も高くなっている。

■ おもな生活習慣病の医療費

	医療費総額	割合
糖尿病	21,717,620円	32.25%
再掲		
インスリン治療	4,380,430円	6.50%
腎障害	48,480円	0.07%
網膜症	928,350円	1.38%
神経障害	47,440円	0.07%
脳血管障害	7,456,700円	11.07%
虚血性心疾患	5,082,310円	7.55%
動脈閉そく	0円	0.00%
高血圧症	14,459,820円	21.47%
高尿酸血症	1,538,520円	2.28%
高脂血症	8,193,010円	12.16%
肝機能障害	502,230円	0.75%
高血圧性腎臓障害	710円	0.00%
人工透析	8,398,270円	12.47%
再掲		
糖尿病	7,480円	0.01%
高血圧	1,404,700円	2.09%
合計	67,349,190円	100.00%

■ 年齢階層別 一人当たり医療費

0-4歳	266,221円	25-29歳	71,186円	50-54歳	178,421円
5-9歳	188,874円	30-34歳	91,103円	55-59歳	359,309円
10-14歳	87,912円	35-39歳	108,809円	60-64歳	241,454円
15-19歳	102,704円	40-44歳	77,138円	65-69歳	353,199円
20-24歳	92,801円	45-49歳	142,303円	70-74歳	538,783円

②加入している前期高齢者（65～74歳）の医療費が、前期高齢者納付金の額に影響するため、医療費を下げることができれば財政上のメリットが大きい。

STEP 1-3 (2) 疾病分類別医療費

											全 組 合 集 計				
疾病19分類	医療費総額	医療費割合	1人当たり医療費	全組合集計比較指数	受診率	1件当たり日数	1日当たり医療費	件数	日数	受診者数	医療費割合	1人当たり医療費	受診率	1件当たり日数	1日当たり医療費
01:感染症・寄生虫症	16,881,880	2.43%	3,463	0.89	464.2051	1.85	4,038	2,263	4,181	2,167	2.82%	3,949	471.5042	1.76	4,754
02:新生物	73,038,210	10.50%	14,982	1.11	311.5897	2.20	21,835	1,519	3,345	1,410	11.20%	15,678	401.2982	1.82	21,436
03:血液・造血器・免疫障害	15,526,560	2.23%	3,185	1.21	135.1795	2.79	8,434	659	1,841	630	1.90%	2,654	186.4916	2.09	6,806
04:内分泌・栄養・代謝疾患	51,254,980	7.37%	10,514	0.91	873.6410	1.60	7,528	4,259	6,809	4,005	9.15%	12,807	1,097.8535	1.63	7,178
05:精神・行動障害	30,180,940	4.34%	6,191	1.13	398.3590	1.69	9,196	1,942	3,282	1,896	4.01%	5,610	444.6279	1.74	7,269
06:神経系疾患	26,798,890	3.85%	5,497	0.96	480.0000	1.75	6,544	2,340	4,095	2,225	4.46%	6,243	574.2855	1.77	6,139
07:眼・付属器疾患	28,952,280	4.16%	5,939	1.01	696.2051	1.23	6,940	3,394	4,172	3,277	4.34%	6,070	746.4989	1.38	5,905
08:耳・乳様突起疾患	7,495,660	1.08%	1,538	0.94	260.3077	1.76	3,355	1,269	2,234	1,244	1.06%	1,484	218.9842	1.61	4,210
09:循環器系疾患	57,214,250	8.22%	11,736	1.15	697.4359	1.59	10,583	3,400	5,406	3,236	8.54%	11,960	867.3420	1.56	8,821
10:呼吸器系疾患	92,926,690	13.36%	19,062	1.10	1,968.2051	1.54	6,300	9,595	14,750	8,482	11.16%	15,625	1,721.1011	1.57	5,778
11:消化器系疾患	52,936,590	7.61%	10,859	1.20	954.0513	1.74	6,555	4,651	8,076	4,325	7.08%	9,920	1,054.1332	1.72	5,470
12:皮膚・皮下組織疾患	33,040,960	4.75%	6,778	0.79	962.6667	1.50	4,703	4,693	7,026	4,463	5.77%	8,083	1,016.3838	1.54	5,150
13:筋骨格系・結合組織疾患	43,278,390	6.22%	8,878	1.19	672.8205	2.22	5,948	3,280	7,276	3,041	5.96%	8,346	693.5455	2.15	5,587
14:腎尿路生殖器系疾患	26,318,350	3.78%	5,399	0.74	405.9487	1.62	8,232	1,979	3,197	1,882	5.65%	7,910	492.9890	1.85	8,678
15:妊娠・分娩・産じょく	9,293,290	1.34%	1,906	1.04	30.5641	3.42	18,258	149	509	138	1.23%	1,719	31.0600	3.19	17,342
16:周産期発生病態	900,010	0.13%	185	0.26	3.8974	2.84	16,667	19	54	19	0.37%	514	4.7589	4.12	26,199
17:先天奇形変形・染色体異常	2,848,820	0.41%	584	0.43	27.0769	1.58	13,696	132	208	128	0.77%	1,082	36.5227	1.79	16,520
18:他に分類されないもの	13,045,490	1.88%	2,676	1.27	367.7949	2.08	3,493	1,793	3,735	1,717	1.57%	2,192	442.0815	1.77	2,802
19:損傷・中毒・外因性	29,992,580	4.31%	6,152	1.18	344.2051	2.15	8,297	1,678	3,615	1,558	3.71%	5,192	314.0333	2.25	7,334
21:健康影響・保健サービス	3,064,900	0.44%	629	1.95	38.1538	2.21	7,457	186	411	168	0.26%	362	40.9763	1.83	4,826
22:重症急性呼吸器症候群など	72,451,250	10.41%	14,862	1.20	760.4103	1.55	12,631	3,707	5,736	3,465	7.89%	11,053	571.2064	1.68	11,550
88:ワープ病名等	8,262,910	1.19%	1,695	0.97	194.8718	1.38	6,303	950	1,311	934	1.12%	1,561	194.5873	1.23	6,534
伸び率(対前年同月)											全 組 合 集 計				
疾病19分類	医療費総額	医療費割合	1人当たり医療費	全組合集計比較指数	受診率	1件当たり日数	1日当たり医療費	件数	日数	受診者数	医療費割合	1人当たり医療費	受診率	1件当たり日数	1日当たり医療費
01:感染症・寄生虫症	12.46%	-22.36%	-12.75%	-0.11	-2.95%	2.78%	-12.64%	25.10%	28.73%	24.83%	-9.90%	-0.93%	3.81%	-1.68%	-2.86%
02:新生物	23.64%	-14.77%	-4.08%	-0.13	-1.22%	-1.35%	-1.79%	27.33%	25.89%	27.49%	-3.03%	6.53%	5.54%	-1.09%	2.11%
03:血液・造血器・免疫障害	317.73%	185.90%	224.01%	+0.81	-10.62%	27.98%	183.21%	15.21%	47.52%	13.31%	-3.06%	6.50%	5.85%	-1.88%	2.36%
04:内分泌・栄養・代謝疾患	27.81%	-11.84%	-0.85%	-0.06	4.46%	5.26%	-9.62%	34.65%	41.41%	33.46%	-4.98%	4.43%	4.95%	1.24%	-1.17%
05:精神・行動障害	23.98%	-14.57%	-3.82%	-0.05	1.73%	-5.59%	0.14%	31.13%	23.80%	33.05%	-8.86%	0.09%	4.00%	-1.14%	-2.56%
06:神経系疾患	22.14%	-15.94%	-5.26%	-0.13	0.46%	1.16%	-7.01%	29.50%	31.33%	30.35%	-1.55%	8.07%	5.61%	-1.67%	3.95%
07:眼・付属器疾患	19.94%	-17.30%	-6.94%	-0.16	9.21%	0.82%	-15.10%	40.77%	41.28%	40.58%	-2.25%	7.26%	10.57%	0.73%	-3.16%
08:耳・乳様突起疾患	35.56%	-6.09%	5.20%	+0.07	17.20%	0.57%	-10.68%	51.07%	51.77%	50.97%	-9.40%	-0.60%	6.90%	-1.23%	-5.69%
09:循環器系疾患	56.94%	8.16%	21.76%	+0.18	5.68%	8.16%	6.39%	36.22%	47.50%	36.08%	-6.46%	2.85%	3.88%	-0.64%	-0.29%
10:呼吸器系疾患	41.44%	-2.48%	9.73%	-0.04	29.48%	0.00%	-14.95%	66.90%	66.29%	63.34%	4.99%	15.36%	25.62%	-1.88%	-6.58%
11:消化器系疾患	34.46%	-7.31%	4.31%	+0.01	14.55%	-0.57%	-8.13%	47.65%	46.36%	45.72%	-5.98%	3.38%	4.68%	-1.15%	0.09%
12:皮膚・皮下組織疾患	16.73%	-19.49%	-9.43%	-0.08	-1.39%	8.70%	-15.41%	27.11%	38.01%	26.86%	-7.68%	1.58%	2.48%	-0.65%	-0.79%
13:筋骨格系・結合組織疾患	87.52%	29.31%	45.49%	+0.35	11.95%	3.74%	25.09%	44.30%	49.90%	43.24%	-7.45%	1.71%	3.17%	-1.38%	-0.39%
14:腎尿路生殖器系疾患	45.73%	0.27%	13.07%	-0.09	5.88%	-5.26%	12.91%	36.48%	29.07%	36.97%	13.00%	24.06%	7.54%	0.54%	14.68%
15:妊娠・分娩・産じょく	11.77%	-22.54%	-13.28%	-0.13	-22.94%	22.58%	-8.21%	-0.67%	21.77%	0.00%	-10.87%	-2.00%	-0.47%	0.63%	-2.13%
16:周産期発生病態	-69.17%	-78.69%	-76.04%	-0.63	-13.29%	-37.31%	-56.04%	11.76%	-29.87%	18.75%	-19.57%	-13.03%	-4.37%	-4.19%	-5.04%
17:先天奇形変形・染色体異常	0.09%	-30.51%	-22.44%	-0.14	-28.39%	-12.22%	23.67%	-7.69%	-19.07%	-9.22%	-4.94%	4.84%	1.53%	-1.65%	4.97%
18:他に分類されないもの	147.81%	70.91%	92.24%	+0.57	17.38%	10.05%	48.45%	51.31%	66.96%	50.48%	-2.48%	6.93%	10.81%	-1.67%	-1.89%
19:損傷・中毒・外因性	42.99%	-1.60%	10.93%	0.00	8.39%	0.94%	1.02%	39.72%	41.54%	38.74%	1.09%	11.01%	7.73%	-1.32%	4.10%
21:健康影響・保健サービス	-35.49%	-55.56%	-49.92%	-1.89	-14.11%	2.79%	-43.18%	10.71%	13.54%	12.00%	-10.34%	-1.09%	8.77%	-0.54%	-8.62%
22:重症急性呼吸器症候群など	310.72%	182.88%	218.65%	+0.38	211.58%	-2.52%	4.83%	301.63%	291.80%	292.41%	91.97%	111.22%	139.20%	-9.68%	-2.10%
88:ワープ病名等	-30.51%	-52.02%	-46.09%	-0.22	-12.16%	-6.12%	-34.54%	13.23%	6.15%	15.02%	-40.74%	-35.09%	-14.66%	-4.65%	-19.98%

呼吸器系疾患、新生物（がん）、重症急性呼吸器症候群（コロナ感染症）の順で医療費が多い。

STEP 1 - 3 (3) 生活習慣病対策として実施してきた特定健診・特定保健指導

■ 特定健診受診率

	合計	被保険者	被扶養者
40-44歳	78.5%	93.6%	36.5%
45-49歳	84.6%	99.0%	44.1%
50-54歳	77.7%	95.5%	38.2%
55-59歳	78.6%	92.0%	36.5%
60-64歳	75.6%	92.2%	43.1%
65-69歳	73.6%	94.0%	28.9%
70-74歳	71.7%	92.6%	42.1%
合計	78.9%	95.0%	39.2%

■ 特定保健指導実施率

	積極的支援			動機付け支援		
	合計	被保険者	被扶養者	合計	被保険者	被扶養者
40-44歳	64.1%	64.1%	-	80.0%	88.9%	0.0%
45-49歳	69.1%	71.7%	0.0%	80.0%	84.8%	0.0%
50-54歳	52.0%	54.2%	0.0%	79.3%	95.8%	0.0%
55-59歳	56.5%	56.5%	-	50.0%	58.3%	0.0%
60-64歳	64.7%	64.7%	-	100.0%	100.0%	-
65-69歳	-	-	-	91.7%	91.7%	-
70-74歳	-	-	-	62.5%	71.4%	0.0%
合計	61.4%	62.8%	0.0%	77.4%	85.8%	0.0%

③特定健診は、被保険者はほぼ受診しているが、被扶養者の受診率が低い。

④特定保健指導は、被扶養者が実施できていない。

【参考】

肥満（次のいずれか）
①腹囲 男性 \geq 85cm、女性 \geq 90cm
②腹囲は上記未満で、BMI \geq 25kg/m ²

特定保健指導（次の項目にいくつ該当するか）	
○血圧	収縮期130mmHg以上、または拡張期85mmHg以上
○脂質	中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満
○血糖	空腹時血糖100mg/dl以上、またはHbA1c5.6%以上
○喫煙	上記項目に1つでも該当した場合にカウント
動機付け	肥満区分①は1つ、②は1～2
積極的	①は2つ以上、②は3つ以上

健診レベル	保健指導基準値	受診勧奨基準値
血圧（収縮期）	130mmHg/dl以上	140mmHg/dl以上
血圧（拡張期）	85mmHg/dl以上	90mmHg/dl以上
中性脂肪	150mg/dl以上	300mg/dl以上
HDLコレステロール	40mg/dl未満	35mg/dl未満
空腹時血糖	100mg/dl以上	126mg/dl以上
HbA1c	5.6%以上	6.5%以上

STEP 1 - 3(4) 特定健診結果の比較

		全 組 合 集 計																								
		合 計			40～44歳			45～49歳			50～54歳			55～59歳			合 計		40～44歳		45～49歳		50～54歳		55～59歳	
		今年度	前年度	増 減	今年度	前年度	増 減	今年度	前年度	増 減	今年度	前年度	増 減	今年度	前年度	増 減	今年度	増 減	今年度	増 減	今年度	増 減	今年度	増 減	今年度	増 減
全体	特定健康診査対象者数	1,315	1,303	-12	312	355	+43	357	314	-43	179	162	-17	177	187	+10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	特定健康診査受診者数	1,040	1,034	-6	242	279	+37	283	248	-35	146	132	-14	141	152	+11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	健診受診率(%)	79.1%	79.4%	+0.3%	77.6%	78.6%	+1.0%	79.3%	79.0%	-0.3%	81.6%	81.5%	-0.1%	79.7%	81.3%	+1.6%	79.7%	-1.4%	79.8%	-1.1%	80.5%	-1.3%	80.9%	-1.1%	81.2%	-1.2%
	評価対象者数	1,041	1,034	-7	242	279	+37	283	248	-35	146	132	-14	141	152	+11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
評価対象者割合(%)	79.2%	79.4%	+0.2%	77.6%	78.6%	+1.0%	79.3%	79.0%	-0.3%	81.6%	81.5%	-0.1%	79.7%	81.3%	+1.6%	80.2%	-1.3%	80.3%	-1.0%	81.1%	-1.3%	81.4%	-1.1%	81.7%	-1.2%	
内臓脂肪 症候群	内臓脂肪症候群該当者数	166	167	-1	16	21	-5	38	27	-11	22	19	-3	30	34	+4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	内臓脂肪症候群該当者割合(%)	15.8%	16.2%	+0.3%	6.6%	7.5%	+0.9%	13.4%	10.9%	-2.5%	15.1%	14.4%	-0.7%	21.3%	22.4%	+1.1%	13.8%	-0.3%	7.9%	-0.1%	11.0%	-0.1%	14.5%	-0.2%	17.8%	-0.3%
	内臓脂肪症候群予備群者数	151	145	-6	31	41	+10	55	41	-14	25	24	-1	12	18	+6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	内臓脂肪症候群予備群者割合(%)	14.5%	14.0%	-0.5%	12.8%	14.7%	+1.9%	19.4%	16.5%	-2.9%	17.1%	18.2%	+1.1%	8.5%	11.8%	+3.3%	12.7%	-0.1%	11.5%	-0.1%	12.6%	-0.2%	13.3%	-0.2%	13.1%	-0.1%
服薬中 の者	高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の数	152	142	-10	4	7	-3	18	17	-1	25	14	-11	24	30	+6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の割合(%)	14.6%	13.7%	-0.9%	1.7%	2.5%	+0.8%	6.4%	6.9%	+0.5%	17.1%	10.6%	-6.5%	17.0%	19.7%	+2.7%	14.5%	-0.4%	3.7%	-0.1%	7.8%	-0.2%	14.1%	-0.1%	22.0%	+0.1%
	脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の数	89	79	-9	2	3	+1	11	8	-3	10	9	-1	18	13	-5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の割合(%)	8.5%	7.6%	-0.9%	0.8%	1.1%	+0.3%	3.9%	3.2%	-0.7%	6.8%	6.8%	0.0%	12.8%	8.6%	-4.2%	9.6%	-0.5%	2.7%	-0.1%	5.2%	-0.3%	9.2%	-0.3%	15.0%	-0.4%
	糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の数	48	56	+8	4	2	-2	7	7	0	5	7	+2	8	9	+1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の割合(%)	4.6%	5.4%	+0.8%	1.7%	0.7%	-1.0%	2.5%	2.8%	+0.3%	3.4%	5.3%	+1.9%	5.7%	5.9%	+0.2%	4.3%	-0.2%	1.4%	0.0%	2.5%	-0.1%	4.1%	0.0%	6.3%	-0.1%
全体	特定健康診査対象者数	169	167	-2	79	90	+11	42	28	-14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	健診受診率(%)	80.5%	77.8%	-2.7%	77.2%	78.9%	+1.7%	73.8%	78.6%	+4.8%	—	—	—	—	—	—	79.5%	-1.6%	70.4%	-4.3%	53.9%	-4.8%	—	—	—	—
内臓脂肪 症候群	内臓脂肪症候群該当者数	34	36	-2	17	23	+6	9	7	-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	内臓脂肪症候群該当者割合(%)	25.0%	27.7%	+2.7%	27.9%	32.4%	+4.5%	28.1%	31.8%	+3.7%	—	—	—	—	—	—	21.0%	-0.1%	22.9%	-0.5%	22.8%	-0.7%	—	—	—	—
	内臓脂肪症候群予備群者数	14	11	-3	9	6	-3	5	4	-1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	内臓脂肪症候群予備群者割合(%)	10.3%	8.5%	-1.8%	14.8%	8.5%	-6.3%	15.6%	18.2%	+2.6%	—	—	—	—	—	—	13.4%	0.0%	13.5%	-0.3%	12.2%	-0.3%	—	—	—	—
服薬中 の者	高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の数	46	40	-6	25	27	+2	10	7	-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の割合(%)	33.8%	30.8%	-3.0%	41.0%	38.0%	-3.0%	31.3%	31.8%	+0.5%	—	—	—	—	—	—	30.7%	-0.3%	37.1%	-0.4%	44.4%	-0.6%	—	—	—	—
	脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の数	26	23	-3	12	18	+6	9	5	-4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の割合(%)	19.1%	17.7%	-1.4%	19.7%	25.4%	+5.7%	28.1%	22.7%	-5.4%	—	—	—	—	—	—	20.2%	-0.7%	23.2%	-0.5%	27.6%	-0.5%	—	—	—	—
	糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の数	9	12	+3	9	14	+5	6	5	-1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の割合(%)	6.6%	9.2%	+2.6%	14.8%	19.7%	+4.9%	18.8%	22.7%	+3.9%	—	—	—	—	—	—	8.7%	-0.1%	10.6%	-0.1%	12.0%	-0.5%	—	—	—	—

⑤内臓脂肪症候群該当者割合、同予備群者割合とも全健保組合平均を上回っている。

STEP 1 - 3 (5) 健診結果によるレベル判定や健康状況から見る課題

(単位：人)

■ 健診レベル判定と男女別の肥満区分

⑥一般的に肥満と生活習慣病の関連性が認められているが、特定保健指導では、保健指導値以上及び受診勧奨値以上の「肥満」の人のみが対象のため、「非肥満」の人はもれてしまう。

	基準範囲内		保健指導値以上		受診勧奨値以上		服薬あり	
	非肥満	肥満	非肥満	肥満	非肥満	肥満	非肥満	肥満
男	167	64	176	153	103	128	90	170
	15.89%	6.09%	16.75%	14.56%	9.80%	12.18%	8.56%	16.18%
女	132	16	46	16	26	19	38	24
	41.64%	5.05%	14.51%	5.05%	8.20%	5.99%	11.99%	7.57%

基準範囲内計 379

保健指導値以上計 391

受診勧奨値以上計 276

服薬あり計 322

総合計
1,368

■ 健診レベル判定と通院状況

	健診非受診者		基準範囲内		保健指導値以上		受診勧奨値以上		服薬あり	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
生活習慣病 レセ有	111	6.41%	59	3.40%	62	3.40%	71	4.10%	307	17.71%
生活習慣病 レセ無し	254	14.66%	320	18.47%	329	18.98%	205	11.83%	15	0.87%

379

391

276

322

総合計
1,368

⑦【健診受診率の向上】

健診データが無いと、潜在的なリスクを発見することができない。

⑧【保健指導などの介入】

行動変容が起こらなければ、重症化してしまう恐れがある。

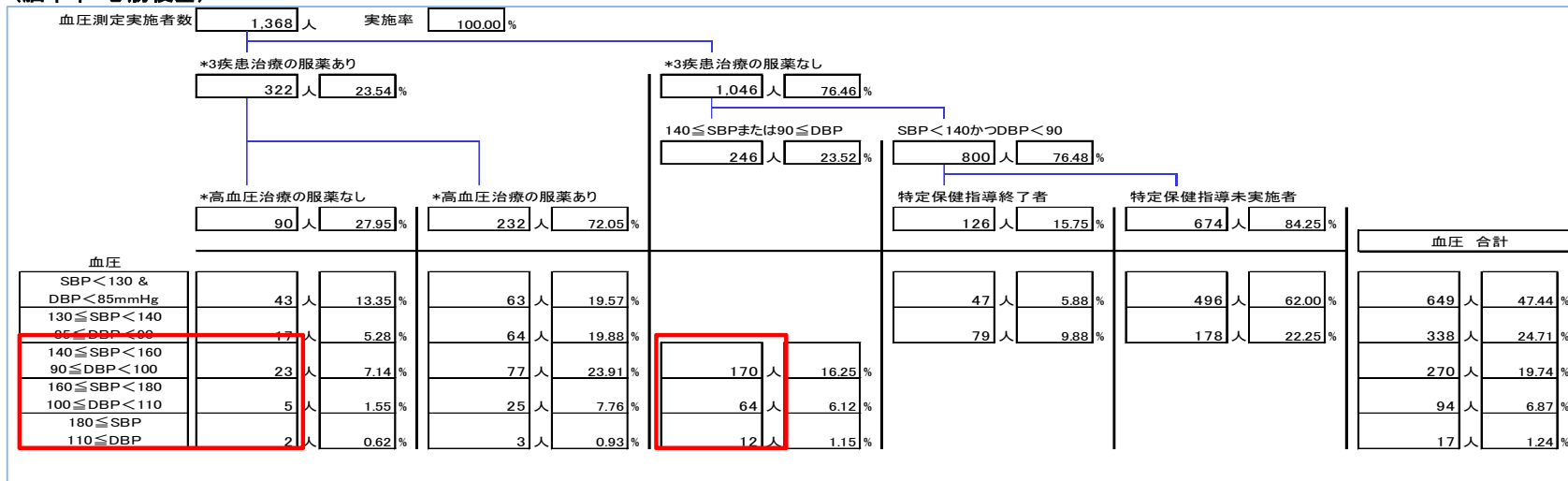
⑨【適正治療】

適正な治療を継続してもらうことが必要。

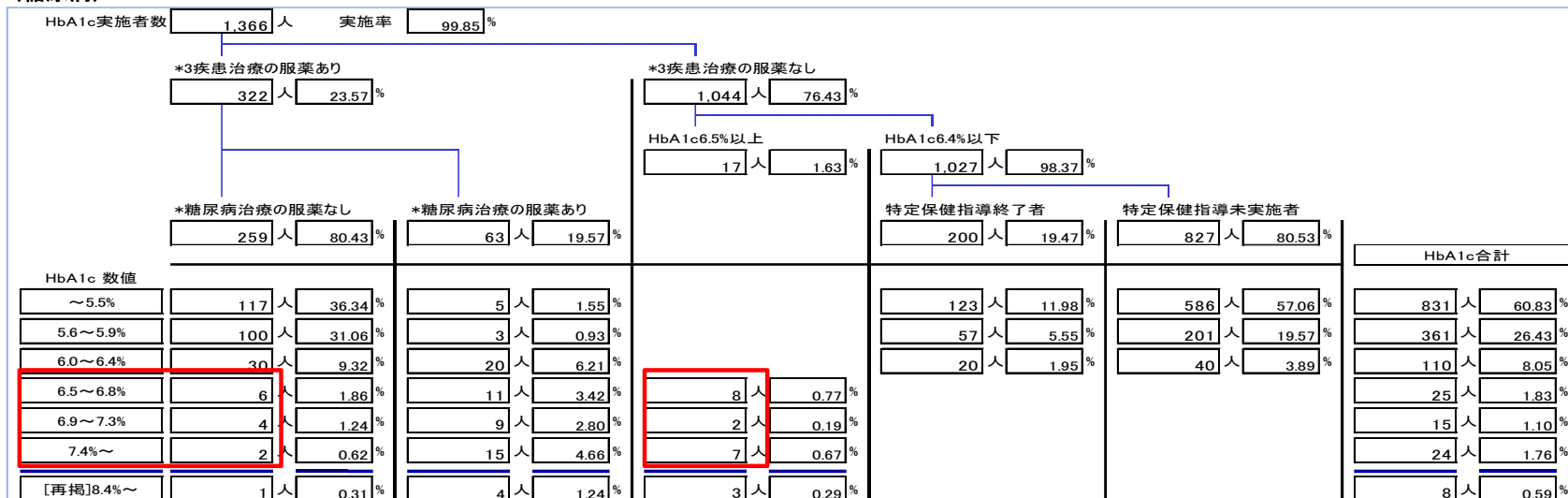
- 特定健診・特定保健指導の実施は義務化されており、これらの取組を活かしながら生活習慣病対策に取り組む。
- 健診レベルや健康状況に応じた対応が必要となるが、コストの問題もあり注力すべき対象を絞り、段階的に実施することも必要。

STEP 1-3(6) 生活習慣病リスクフローチャート (脳卒中・心筋梗塞、糖尿病)

(脳卒中・心筋梗塞)



(糖尿病)

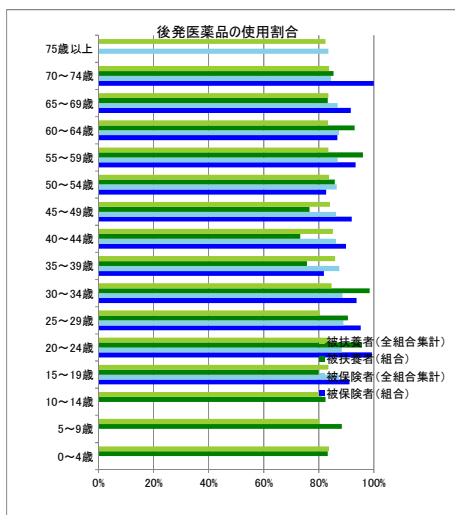
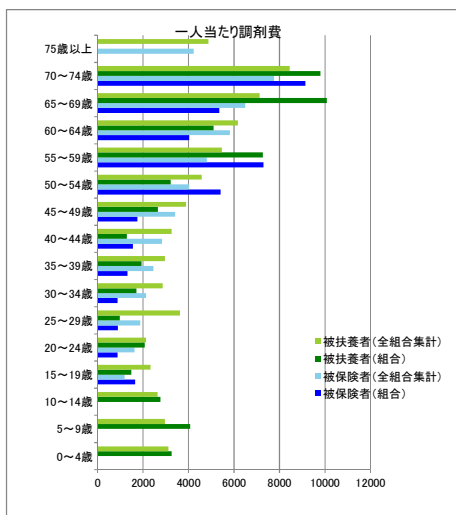
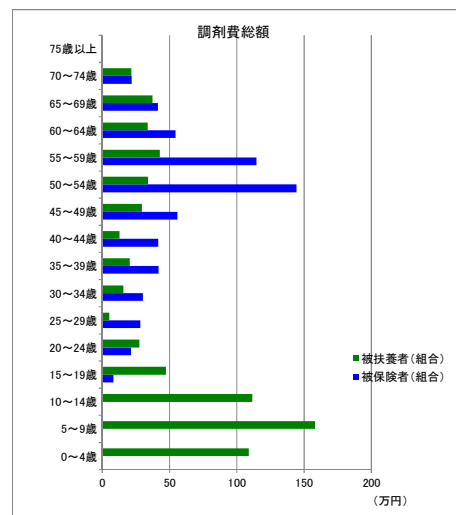


⑩高血圧、糖尿病の受診勧奨レベルにもかかわらず、治療していない（服薬なし）人が多く存在している。

STEP 1 - 3 (7) ジェネリック医薬品利用率

年齢階層	合計			被保険者			被扶養者			全組合集計				
	件数	調剤費		件数	調剤費		件数	調剤費		1人当たり 調剤費	被保険者		被扶養者	
		総額	1人当たり 調剤費		総額	1人当たり 調剤費		総額	1人当たり 調剤費		1人当たり 調剤費	1人当たり 調剤費		
0~4歳	222	1,087,840	3,267	—	—	—	222	1,087,840	3,267	—	—	3,113	—	3,113
5~9歳	175	1,580,800	4,074	—	—	—	175	1,580,800	4,074	—	—	2,966	—	2,966
10~14歳	145	1,116,030	2,769	—	—	—	145	1,116,030	2,769	—	—	2,633	—	2,633
15~19歳	90	558,210	1,513	13	83,940	1,646	77	474,270	1,491	—	1,192	2,264	—	2,328
20~24歳	65	488,940	1,307	38	214,040	884	27	274,900	2,083	—	1,846	1,846	—	2,134
25~29歳	70	336,000	913	59	283,690	903	11	52,310	969	—	2,037	1,885	—	3,623
30~34歳	83	457,290	1,061	58	301,890	888	25	155,400	1,708	—	2,225	2,129	—	2,860
35~39歳	105	623,500	1,467	69	418,130	1,311	36	205,370	1,937	—	2,555	2,463	—	2,966
40~44歳	89	544,520	1,480	64	416,110	1,553	25	128,410	1,284	—	2,923	2,832	—	3,268
45~49歳	121	853,320	1,984	89	558,320	1,750	32	295,000	2,658	—	3,507	3,403	—	3,884
50~54歳	131	1,782,880	4,780	97	1,443,020	5,405	34	339,860	3,206	—	4,164	4,040	—	4,582
55~59歳	96	1,573,640	7,285	71	1,144,760	7,291	25	428,880	7,269	—	4,964	4,811	—	5,472
60~64歳	89	881,000	4,383	52	544,410	4,033	37	336,590	5,100	—	5,900	5,819	—	6,173
65~69歳	64	784,700	6,883	44	411,860	5,349	20	372,840	10,077	—	6,666	6,489	—	7,128
70~74歳	30	434,740	9,451	16	219,240	9,135	14	215,500	9,795	—	8,052	7,760	—	8,453
75歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4,580	4,229	—	4,871
合計	1,575	13,103,410	2,708	670	6,039,410	2,403	905	7,064,000	3,037	—	3,269	3,281	—	3,252

年齢階層	合計						被保険者						被扶養者						全組合集計					
	件数	使用割合		件数	使用割合		件数	使用割合		件数	使用割合		合計		被保険者		被扶養者		合計		被保険者		被扶養者	
		薬剤費割合	調剤費割合		薬剤費割合	調剤費割合		薬剤費割合	調剤費割合		使用割合	薬剤費割合	使用割合	薬剤費割合	使用割合	薬剤費割合	使用割合	薬剤費割合	使用割合	薬剤費割合	使用割合	薬剤費割合	使用割合	薬剤費割合
0~4歳	186	83.22%	64.25%	—	—	—	186	83.22%	64.25%	—	—	—	83.74%	59.00%	0.00%	0.00%	83.74%	59.00%	83.74%	59.00%	83.74%	59.00%	83.74%	59.00%
5~9歳	145	88.41%	91.56%	—	—	—	145	88.41%	91.56%	—	—	—	80.26%	48.35%	0.00%	0.00%	80.26%	48.35%	80.26%	48.35%	80.26%	48.35%	80.26%	48.35%
10~14歳	116	82.37%	30.83%	—	—	—	116	82.37%	30.83%	—	—	—	81.05%	46.13%	0.00%	0.00%	81.05%	46.13%	81.05%	46.13%	81.05%	46.13%	81.05%	46.13%
15~19歳	68	81.96%	42.14%	11	91.12%	70.10%	57	79.87%	36.31%	—	—	—	83.63%	52.56%	87.37%	59.58%	83.50%	52.35%	83.63%	52.56%	87.37%	59.58%	83.50%	52.35%
20~24歳	57	97.28%	49.60%	34	99.31%	99.45%	23	95.74%	35.55%	—	—	—	85.93%	56.88%	88.38%	61.42%	83.56%	52.81%	85.93%	56.88%	88.38%	61.42%	83.56%	52.81%
25~29歳	54	94.10%	91.51%	48	95.30%	92.55%	6	90.52%	86.42%	—	—	—	87.53%	58.97%	89.00%	60.37%	80.20%	52.17%	87.53%	58.97%	89.00%	60.37%	80.20%	52.17%
30~34歳	71	95.45%	85.96%	52	93.72%	80.71%	19	98.48%	98.68%	—	—	—	87.88%	60.24%	88.63%	61.02%	84.68%	57.09%	87.88%	60.24%	88.63%	61.02%	84.68%	57.09%
35~39歳	83	79.78%	56.55%	61	81.81%	62.78%	22	75.69%	43.83%	—	—	—	87.07%	58.31%	87.41%	58.00%	85.93%	59.31%	87.07%	58.31%	87.41%	58.00%	85.93%	59.31%
40~44歳	71	85.09%	71.07%	51	89.89%	79.17%	20	73.24%	57.03%	—	—	—	85.97%	58.67%	86.24%	58.01%	85.11%	60.71%	85.97%	58.67%	86.24%	58.01%	85.11%	60.71%
45~49歳	103	87.46%	47.25%	75	91.94%	66.55%	28	76.68%	26.25%	—	—	—	85.77%	60.22%	86.30%	60.09%	84.03%	60.61%	85.77%	60.22%	86.30%	60.09%	84.03%	60.61%
50~54歳	117	83.71%	61.89%	85	82.73%	58.03%	32	85.87%	73.70%	—	—	—	85.90%	60.54%	86.59%	61.43%	83.72%	57.94%	85.90%	60.54%	86.59%	61.43%	83.72%	57.94%
55~59歳	81	94.14%	36.37%	60	93.35%	76.15%	21	96.00%	19.66%	—	—	—	86.07%	61.51%	86.87%	62.79%	83.51%	57.64%	86.07%	61.51%	86.87%	62.79%	83.51%	57.64%
60~64歳	75	89.94%	86.31%	41	86.72%	79.60%	34	93.03%	92.73%	—	—	—	86.35%	64.76%	87.25%	66.43%	83.38%	59.65%	86.35%	64.76%	87.25%	66.43%	83.38%	59.65%
65~69歳	53	89.44%	37.05%	36	91.58%	77.37%	17	83.26%	13.61%	—	—	—	85.92%	64.62%	86.89%	67.08%	83.53%	59.19%	85.92%	64.62%	86.89%	67.08%	83.53%	59.19%
70~74歳	26	91.48%	85.80%	14	100.00%	100.00%	12	85.30%	74.31%	—	—	—	84.13%	62.75%	84.40%	62.91%	83.80%	62.55%	84.13%	62.75%	84.40%	62.91%	83.80%	62.55%
75歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	82.90%	63.57%	83.53%	66.75%	82.42%	61.20%	82.90%	63.57%	83.53%	66.75%	82.42%	61.20%
合計	1,306	87.41%	59.20%	568	89.45%	72.04%	738	85.47%	52.78%	—	—	—	85.42%	59.22%	87.00%	61.73%	83.01%	55.15%	85.42%	59.22%	87.00%	61.73%	83.01%	55.15%



○後発医薬品の使用率は全健保組合平均を上回っている。

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき課題
1	ウ	被保険者の特定健診は事業所の定期健診と同時に実施しているため受診率が高いが、被扶養者は受診率が低いため、健康状態の把握ができず潜在的なリスクの発見が難しい。	➔	被保険者は、今後とも事業所と協働して受診率の維持・向上を図る。被扶養者は、集合健診や巡回健診等の利用を案内して受診機会を増やし受診率向上を図る。	✓
2	ウ, エ	内臓脂肪症候群該当者割合、同予備群割合が全健保組合平均に比べて高い。	➔	特定保健指導について、被保険者は今後も事業主・委託業者と協働して、特定保健指導の受けやすい職場環境作りや指導内容の改善を実施していく。被扶養者についても新たな受診方法による実施を検討する。	✓
3	ウ, エ	内臓脂肪症候群該当者割合、同予備群割合が全健保組合平均に比べて高い。	➔	健康意識醸成のため、運動セミナー等を開催していく。	
4	ア, イ	疾病分類別医療費では、呼吸器系疾患、新生物（がん）、重症急性呼吸器症候群の順で医療費の額が多い。また、生活習慣病についての医療費も高くなっている。	➔	各種健診の定期的受診を促進し疾病の早期発見に努める。また、健診結果で生活習慣病のリスクが高いと考えられる人に医療機関の受診勧奨を行う。	
5	ア, イ	がんは医療費が高く、罹患すると生活に支障をきたし、会社の生産性も低下する。	➔	がんは早期発見・早期治療が重要なことから、各種がん検診を推進していく。	
6	ア	前期高齢者（65～74歳）の医療費は前期高齢者納付金への反映を通じて、健保財政に大きな影響を与えるため、特に65歳以後の人については健診による疾病の早期発見、保健指導、重症化予防等の施策が必要である。	➔	被保険者に対しては、健診や保健指導、受診勧奨などの取組を徹底して実施する。 被扶養者に対しては、定期的な情報提供を行いつつ、対象を絞り込んで対策を行う。	
7	オ, カ	受診勧奨値以上でも通院歴がなく、リスクの高い者がいる。	➔	適切な治療につなげるため、医療機関の受診勧奨を行い行動変容を促す。	
8	未選択	健康に対する無関心層の撲滅。	➔	組合員全員に対して健康意識の醸成を図る。	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> 加入事業所の主体は造船業で、主な事業所は4県にまたがっており、ほとんどの被保険者はそれぞれの事業所のある地域に集中している。 加入事業所の主体が造船業ということもあり、性別では男性比率が約90%と高く、職種では製造現場作業者が多いという特徴がある。 被保険者数は約2,500人、健診等の施設も保有しておらず、医療専門スタッフもいない小規模健保である。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 事業所ごとの実情に沿った対応策を検討していく必要がある。 事業主との協働が重要であるため、健保組合と事業主の情報交換の場をもつ必要がある。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
-----	----	--	--------------

- 1
- ・特定健診は、被保険者の多くが事業所単位で集中しているため、集団健診として実施することで被保険者の健診受診率が高い。一方、被扶養者については、集合健診の実施、巡回健診の案内等で受診率の向上を図っているが、被扶養者の受診率は40%弱と低迷している。
 - ・特定保健指導は、被保険者は事業所の協力を得て、勤務時間内に実施していること等により実施率は向上しているが、被扶養者については実施できていない。



- ・被扶養者の特定健診の実施。
- ・健診受診意識が低い層に対して人間ドック等の受診を促進する。
- ・前期高齢者に対する保健指導の検討。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

組合加入者の健康とQOL（生活の質）の改善を図り、生活習慣病等に係る医療費の適正化を実現することを目的とする。

事業全体の目標

特定健診受診率の向上による健康維持（特定健診受診率80%以上）（内臓脂肪症候群該当者割合を全健保組合平均以下）

特定保健指導実施率の向上による健康改善（特定保健指導実施率70%以上）

生活習慣病リスク者の重症化予防（受診勧奨受診率20%以上）

事業の一覧

職場環境の整備

予算措置なし	健康づくり事業推進委員会（仮称）活動
--------	--------------------

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	情報提供及び教育
--------	----------

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	運動セミナーの開催
疾病予防	人間ドック
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	郵送がん検診（大腸がん）
疾病予防	郵送がん検診（子宮頸がん）
疾病予防	前期高齢者保健指導
予算措置なし	重症化予防

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
予算措置なし	1	新規	健康づくり事業推進委員会(仮称)活動	母体企業	男女	18～74	被保険者	3	ケ	-	ア	-	0	0	0	0	0	0	事業主と健保組合が協同して効果的・効率的な保健事業を実施する。	該当なし
													推進委員会のメンバーの選定、運営方法について事業主と協議して推進委員会を立ち上げ、年1～2回の会合を行う。	推進委員会のメンバーの選定、運営方法について事業主と協議して推進委員会を立ち上げ、年1～2回の会合を行う。	推進委員会のメンバーの選定、運営方法について事業主と協議して推進委員会を立ち上げ、年1～2回の会合を行う。	推進委員会のメンバーの選定、運営方法について事業主と協議して推進委員会を立ち上げ、年1～2回の会合を行う。	推進委員会のメンバーの選定、運営方法について事業主と協議して推進委員会を立ち上げ、年1～2回の会合を行う。	推進委員会のメンバーの選定、運営方法について事業主と協議して推進委員会を立ち上げ、年1～2回の会合を行う。		
実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)会議を計画しての実施率												事業主との協同による直接的な効果の測定が難しいため(アウトカムは設定されていません)								
加入者への意識づけ																				
保健指導宣伝	5	既存	情報提供及び教育	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	-	ア,ウ	-	1,164	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	情報発信による被保険者の健康意識の醸成。	健康に対する無関心層の撲滅。
													①すこやか健保、パンフレット等の配付 ②育児雑誌の配付 ③新入社員教育	①すこやか健保、パンフレット等の配付 ②育児雑誌の配付 ③新入社員教育	①すこやか健保、パンフレット等の配付 ②育児雑誌の配付 ③新入社員教育	①すこやか健保、パンフレット等の配付 ②育児雑誌の配付 ③新入社員教育	①すこやか健保、パンフレット等の配付 ②育児雑誌の配付 ③新入社員教育	①すこやか健保、パンフレット等の配付 ②育児雑誌の配付 ③新入社員教育		
配付率(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												文書等の配付による健康意識の醸成の効果が把握できないため(アウトカムは設定されていません)								
個別の事業																				
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健診(被保険者)	全て	男女	40～74	被保険者	2	ア,ケ	-	ア,カ	-	0	0	0	0	0	0	メタボリックシンドロームに着目した健康状態の把握と有リスク者の選別のため、受診率の向上を図る。	被保険者の特定健診は事業所の定期健診と同時に実施しているため受診率が高いが、被扶養者は受診率が低いため、健康状態の把握ができて潜在的なリスクの発見が難しい。
													事業主が行う定期健診と併せて共同実施	事業主が行う定期健診と併せて共同実施	事業主が行う定期健診と併せて共同実施	事業主が行う定期健診と併せて共同実施	事業主が行う定期健診と併せて共同実施	事業主が行う定期健診と併せて共同実施		
配付率(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												受診率(【実績値】 95% 【目標値】 令和6年度：96% 令和7年度：97% 令和8年度：97% 令和9年度：97% 令和10年度：97% 令和11年度：97%)健診受診の促進								
健診実施計画を作成して事業所に配付																				
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健診(被扶養者)	全て	男女	40～74	被扶養者	1	ケ	-	ウ	-	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	メタボリックシンドロームに着目した健康状態の把握と有リスク者の選別のため、受診率の向上を図る。	被保険者の特定健診は事業所の定期健診と同時に実施しているため受診率が高いが、被扶養者は受診率が低いため、健康状態の把握ができて潜在的なリスクの発見が難しい。
													利便性の高い集合健診、巡回健診を導入し、受診機会を増加	利便性の高い集合健診、巡回健診を導入し、受診機会を増加	利便性の高い集合健診、巡回健診を導入し、受診機会を増加	利便性の高い集合健診、巡回健診を導入し、受診機会を増加	利便性の高い集合健診、巡回健診を導入し、受診機会を増加	利便性の高い集合健診、巡回健診を導入し、受診機会を増加		
配付率(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												受診率(【実績値】 39% 【目標値】 令和6年度：40% 令和7年度：45% 令和8年度：50% 令和9年度：55% 令和10年度：60% 令和11年度：60%)健診受診の促進								
特定健診対象者に対し特定健診受診券を送付して受診勧奨、また今治地区・豊橋地区の特定健診対象者に対して、集合健診・巡回健診の受診案内の配付																				
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者	1	ケ	-	ア,ウ	-	6,240	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	特定保健指導対象者の割合を全国平均並みにする。	内臓脂肪症候群該当者割合、同予備群割合が全健保組合平均に比べて高い。
													健保組合で対象者を抽出し、外部業者に特定保健指導を委託、被保険者は、事業所に依頼して勤務時間内に面談を実施	健保組合で対象者を抽出し、外部業者に特定保健指導を委託、被保険者は、事業所に依頼して勤務時間内に面談を実施	健保組合で対象者を抽出し、外部業者に特定保健指導を委託、被保険者は、事業所に依頼して勤務時間内に面談を実施	健保組合で対象者を抽出し、外部業者に特定保健指導を委託、被保険者は、事業所に依頼して勤務時間内に面談を実施	健保組合で対象者を抽出し、外部業者に特定保健指導を委託、被保険者は、事業所に依頼して勤務時間内に面談を実施	健保組合で対象者を抽出し、外部業者に特定保健指導を委託、被保険者は、事業所に依頼して勤務時間内に面談を実施		
実施率(【実績値】 68% 【目標値】 令和6年度：70% 令和7年度：70% 令和8年度：70% 令和9年度：70% 令和10年度：70% 令和11年度：70%)特定保健指導実施の促進												対象者率(【実績値】 23% 【目標値】 令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：20% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)特定保健指導対象者の減少(特定健診対象者に対する保健指導対象者)								
保健指導宣伝	5	既存	運動セミナーの開催	一部の事業所	男女	18～74	被保険者	1	ス	-	ア,ウ	-	100	100	100	100	100	100	運動習慣を改善し、特定保健指導対象者の減少を図る。	内臓脂肪症候群該当者割合、同予備群割合が全健保組合平均に比べて高い。
													毎年、セミナーの内容を事業者と協議して決定し、参加者を募集する。	毎年、セミナーの内容を事業者と協議して決定し、参加者を募集する。	毎年、セミナーの内容を事業者と協議して決定し、参加者を募集する。	毎年、セミナーの内容を事業者と協議して決定し、参加者を募集する。	毎年、セミナーの内容を事業者と協議して決定し、参加者を募集する。	毎年、セミナーの内容を事業者と協議して決定し、参加者を募集する。		
参加人数(【実績値】 20人名以上の参加を目指す。 【目標値】 令和6年度：20人 令和7年度：20人 令和8年度：20人 令和9年度：20人 令和10年度：20人 令和11年度：20人)毎回20												対象者率(【実績値】 23% 【目標値】 令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：20% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)特定保健指導対象者の減少(特定健診対象者に対する保健指導対象者)								
疾病予防	3	既存	人間ドック	全て	男女	35～74	被保険者,被扶養者	1	ス	-	カ	-	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	医療費の減少	疾病分類別医療費では、呼吸器系疾患、新生物(がん)、重症急性呼吸器症候群の順で医療費の額が多い。また、生活習慣病についての医療費も高くなっている。
													被扶養者には特定健診を兼ねて推進	被扶養者には特定健診を兼ねて推進	被扶養者には特定健診を兼ねて推進	被扶養者には特定健診を兼ねて推進	被扶養者には特定健診を兼ねて推進	被扶養者には特定健診を兼ねて推進		
受診人数(【実績値】 160人 【目標値】 令和6年度：100人 令和7年度：100人 令和8年度：100人 令和9年度：100人 令和10年度：100人 令和11年度：100人)-												人間ドック受診による医療費削減効果が把握できないため(アウトカムは設定されていません)								

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
3	既存	生活習慣病健診	全て	男女	35～74	被保険者、被扶養者	1	ス		ア,カ		23,260	23,500	23,500	23,500	23,500	23,500	医療費の減少	疾病分類別医療費では、呼吸器系疾患、新生物（がん）、重症急性呼吸器症候群の順で医療費の額が多い。また、生活習慣病についての医療費も高くなっている。	
												①被保険者：事業所の定期健診と同時実施。費用の全額を補助。 ②被扶養者：住民健診を利用。費用の全額を補助。	①被保険者：事業所の定期健診と同時実施。費用の全額を補助。 ②被扶養者：住民健診を利用。費用の全額を補助。	①被保険者：事業所の定期健診と同時実施。費用の全額を補助。 ②被扶養者：住民健診を利用。費用の全額を補助。	①被保険者：事業所の定期健診と同時実施。費用の全額を補助。 ②被扶養者：住民健診を利用。費用の全額を補助。	①被保険者：事業所の定期健診と同時実施。費用の全額を補助。 ②被扶養者：住民健診を利用。費用の全額を補助。	①被保険者：事業所の定期健診と同時実施。費用の全額を補助。 ②被扶養者：住民健診を利用。費用の全額を補助。			①被保険者：事業所の定期健診と同時実施。費用の全額を補助。 ②被扶養者：住民健診を利用。費用の全額を補助。
住民健診の受診人数(【実績値】98人 【目標値】令和6年度：100人 令和7年度：110人 令和8年度：110人 令和9年度：120人 令和10年度：120人 令和11年度：120人)被保険者は、対象者のほぼ全員が受診している。被扶養者については、住民健診の受診を促進する。												生活習慣病健診受診による医療費削減効果が把握できないため(アウトカムは設定されていません)								
3	既存	郵送がん検診(大腸がん)	全て	男女	35～74	被扶養者	1	ウ,ク		カ		320	320	320	320	320	320	新生物（がん）の医療費割合を全国平均並みにする。	がんは医療費が高く、罹患すると生活に支障をきたし、会社の生産性も低下する。	
												被扶養者の希望者を対象に実施（便潜血検査）	被扶養者の希望者を対象に実施（便潜血検査）	被扶養者の希望者を対象に実施（便潜血検査）	被扶養者の希望者を対象に実施（便潜血検査）	被扶養者の希望者を対象に実施（便潜血検査）	被扶養者の希望者を対象に実施（便潜血検査）			被扶養者の希望者を対象に実施（便潜血検査）
配付率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%) 受診対象の被扶養者に対して、郵送がん検診（大腸がん）の受診案内の配付												受診率(【実績値】19% 【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：25% 令和9年度：25% 令和10年度：30% 令和11年度：30%)受診の促進								
3	既存	郵送がん検診(子宮頸がん)	全て	女性	20～74	被保険者、被扶養者	1	ウ,ケ		カ		1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	新生物（がん）の医療費割合を全国平均並みにする。	がんは医療費が高く、罹患すると生活に支障をきたし、会社の生産性も低下する。	
												被保険者・被扶養者の女性希望者を対象に実施（HPV検査）	被保険者・被扶養者の女性希望者を対象に実施（HPV検査）	被保険者・被扶養者の女性希望者を対象に実施（HPV検査）	被保険者・被扶養者の女性希望者を対象に実施（HPV検査）	被保険者・被扶養者の女性希望者を対象に実施（HPV検査）	被保険者・被扶養者の女性希望者を対象に実施（HPV検査）			被保険者・被扶養者の女性希望者を対象に実施（HPV検査）
配付率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%) 受診対象の被保険者・被扶養者に対して、郵送がん検診（子宮頸がん）の受診案内の配付												受診率(【実績値】11% 【目標値】令和6年度：15% 令和7年度：15% 令和8年度：20% 令和9年度：20% 令和10年度：25% 令和11年度：25%)受診の促進								
4	既存	前期高齢者保健指導	一部の事業所	男女	65～74	被保険者	1	ケ		ア,ウ		180	180	70	180	180	180	前期高齢者の医療費の削減	前期高齢者（65～74歳）の医療費は前期高齢者納付金への反映を通じて、健保財政に大きな影響を与えるため、特に65歳以後の人については健診による疾病の早期発見、保健指導、重症化予防等の施策が必要である。	
												前期高齢者の多い事業所で勤務時間内に実施	前期高齢者の多い事業所で勤務時間内に実施	前期高齢者の多い事業所で勤務時間内に実施	前期高齢者の多い事業所で勤務時間内に実施	前期高齢者の多い事業所で勤務時間内に実施	前期高齢者の多い事業所で勤務時間内に実施			
実施率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：70% 令和7年度：70% 令和8年度：70% 令和9年度：70% 令和10年度：70% 令和11年度：70%)												一部の事業所対象でもあり、医療費の減少効果の測定が難しいため(アウトカムは設定されていません)								
予算措置なし	4	新規	重症化予防	全て	男女	18～74	被保険者、被扶養者	1	イ	ア,イ		0	0	0	0	0	0	高血圧症、糖尿病の受診勧奨値以上でも通院歴がなく、リスクの高い者がいる。	高血圧症、糖尿病の受診勧奨値以上でも通院歴のない人を減少させる。	
												高血圧症、糖尿病の受診勧奨値以上で通院歴のない人を対象に受診勧奨を行う。	高血圧症、糖尿病の受診勧奨値以上で通院歴のない人を対象に受診勧奨を行う。	高血圧症、糖尿病の受診勧奨値以上で通院歴のない人を対象に受診勧奨を行う。	高血圧症、糖尿病の受診勧奨値以上で通院歴のない人を対象に受診勧奨を行う。	高血圧症、糖尿病の受診勧奨値以上で通院歴のない人を対象に受診勧奨を行う。	高血圧症、糖尿病の受診勧奨値以上で通院歴のない人を対象に受診勧奨を行う。			
実施率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：70% 令和9年度：70% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)対象者への受診勧奨の実施率												受診率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：20% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)受診勧奨した人の医療機関受診率								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他